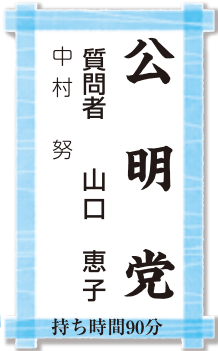


### 市民生活に 安心と希望を



◆子育てに安心と優しさを  
**問** 育児と仕事の両立支援政策が重要だが、子育て世代のアンケート調査結果はどうか。  
**答** 3歳までの子育てでは約80%の方が家庭での子育てを

関への患者搬送は。  
**答** 檜川の救急搬送は木曾広域に依頼し二次救急木曾病院へ搬送する。さらに緊急で重篤な患者はドクター・ヘリ等の出動を要請する。  
 ◆市民の生活を豊かにする  
**問** 空き家対策は法令・条例に従って早急に進めてほしいが、移住の実態は。  
**答** 危険な空き家は、順次持ち主と話し合いを進めている。空き家バンクの活用の課題は多いが促進を図りたい。移住については、転入者が転出者を上回り、3年ぶりに社会増になった。

**問** 保育園の入所状況は。  
**答** 近年3歳未満児の入園が急増し5歳児までの28.9%を占めている。3歳未満児は希望する園に入所できないケースがある。

**問** 現在、育児休業中の上の子の継続利用要件を年長児のみに限っている。上の子の環境の変化に留意し、安心して家庭で子育てできるように継続利用の対象を拡大すべきでは。  
**答** 育児休業中は安心して家庭で子育てできるように3歳児以上に拡大を検討したい。  
**問** 平成27年度から保育園入園手続き提出書類が変更になったが内容が重複している。簡略化できないか。  
**答** 他市の書式を参考に検討したい。

**問** 子育て世代には様々な情報をタイムリーに提供することが必要だが、対策は。  
**答** 子育て応援サイトを作成し、各々の子ども年齢に合った情報を提供したい。



保育園児のおむかえ

**問** 不適切な投稿を防ぎ、効果的に活用するための運営ガイドラインを検討するよう要望する。

**問** 北部拠点施設について  
**答** 現在広丘支所は駐車場不足が課題だ。北部地域拠点施設建築構想では駐車場整備についてどう考えるか。  
**答** 敷地内に100台、近隣の駐車場を利用し周辺で70〜90台を確保したい。  
 ◆安全な道路環境を  
**問** 道路の陥没や穴が目立ち車や歩行者の安全が心配だが、パトロールの現状は。  
**答** スマートフォンから道路の状況を投稿していただく取り組みが有効だと思うが考えは。  
**答** 市道の安全パトロールは3日に1度行っているが1日約230kmで市道の4分の1程度。平成28年度より、スマートフォンのアプリケーションを活用して道路の破損箇所、状況を投稿していただくよう検討している。

**問** 心ない行為によりごみのポイ捨てや、たばこの吸い殻、犬の糞が目立ち住民は大変迷惑している。ポイ捨て禁止条例の検証は。  
**答** 平成16年に条例が施行された。環境美化に取り組む中で監視カメラを設置し、警察と連携しパトロールの強化に努めている。本人が特定できた場合は直接指導を行う。さらにパトロールと監視体制の強化を図っていききたい。

◆住みよい環境を守るために  
**問** 市衛生協議会の方々が市民のご協力でごみの減量と分別リサイクルが実施されている。その効果は。  
**答** 市民のご協力により燃えるごみは10年間で30%の減量、埋め立てごみは60%の減量となり最終処分場の延命に大きく寄与している。ごみの資源化率は10年前の21%から28.7%に向上している。

